

## 会議録

会議の名称	平成16年度第1回(仮称)西東京市リサイクルプラザ市民懇談会
開催日時	平成16年4月16日午後2時00分から午後4時10分まで
開催場所	保谷庁舎2階 第1会議室
出席者	中島光雄座長、一方井寿子、大森とみ、北村律子、鈴木春枝、篠原明美 各委員 (欠席:加藤真子副座長、徳田節子委員) (事務局) 小川環境防災部参与、河原ごみ減量推進課長、桜井環境保全課長補佐 秋本ごみ減量推進課係長、高橋ごみ減量推進課主査
議題	(仮称)西東京市リサイクルプラザの事業・施設内容について (中間報告の最終確認)
会議資料の名称	
記録方法	会議内容の要点記録
会議内容	
<p>発言者名: 発言内容</p> <p>座長: 議題に入る前に事務局の連絡をお願いします。</p> <p>事務局: 職員の定期異動について報告、自己紹介。</p> <p>座長: 委員から話があり、資料としていただいた中間報告案に分からない言葉がある。ISOの分かる資料を事務局で配布してもらいたい。認証のコンテンツがよい。(事務局配布) 議題に入ります。(仮称)西東京市リサイクルプラザの事業及び施設の整備について の中間報告の意見の最終確認を行います。前回の検討課題として、(1)最終案に私が出したアイデアをどう取り入れるか、(2)建物が2階建てになるがプラザの学習機能を1階にするか2階にするか、(3)エレベーターをどうするか、について議題を進めたい。 事務局より本日本配布の資料について説明をお願いいたします。</p> <p>事務局: 資料14について説明をいたします。前回の会議の中でリサイクルショップの展示スベ</p>	

ース等についての議論がありましたので、西東京市のシルバー人材センターのリサイクルショップの状況についてまとめたものです。年間4,500前後の数でリサイクルされている。品目のレイアウト等により即売が促進されるものかと参考にお出ししたものです。どれだけ売れているか実績を見ていただき展示スペースをご理解していただきたい。

資料15につきましては、面積が1,500平方メートルとはいってもイメージがわからなかったと思ひまして図化したものをお持ちしました。建てるにあたり法律的な面でクイヤーしなければいけない為、庁内の課長職の検討部会にて市民懇談会の始まる前に検討して作られた案です。(図を示しながら説明...略...)

座長：

ソーラーシステムが1階の屋上においてあるが、南側に2階の建物があり日陰になる。2階に置けないのか。

事務局：

実施設計で変更は可能であり、イメージとしてお示ししている。

座長：

機能を1階にするか2階にするか決めてもらいたいとのことですが。

事務局：

3月議会で「建てるのであれば市民優先としたい。」との質問がありました。市としては、市民懇談会のご意見をお伺いし努力すると回答している。市民の方の使い勝手を決めていただきたい。私どもでは使い勝手から見て1階がよろしいのではと思っている。2階ではスロープとかエレベーターをつけなければいけなくなる。

委員：

2階にごみ減量推進課の事務所を置くと、2階には行ってはいけませんということになるのか。

事務局：

市民の為の施設であるから365日開いている状況が望ましいと考えている。事務所と作業員の部屋とは一緒ですが、プラザ機能とはシャッター等で分離できるようにすることを考えている。

座長：

たとえば、土日などにスタッフは屋上などに行けるのですか。

事務局：

行けない。安全上を考えると閉める。屋上緑化は緑化推進の立場で設置を考えているので、見せる施設ではない。手入れは関係者で考えている。

座長：

モニタリング施設などはどうするのか。

事務局：

そのときだけは何とかするようだ。屋上に当面そのようなものを考えていない。

委員：

最近クーラーを使わないようにして、武蔵野市では屋上を全部緑化にして、窓を開け自然の空気で調整している。

事務局：

出来ないことはないが、経費面から見て難しい。理想は委員さんの言うとおりです。

座長：

時間がないのでまとめたい。1階がプラザで2階が詰め所でも良いのですが、気になっていることが二点ある。一点はこのレベルの建物でエレベーターが無いということは聞いたことがない。

事務局：

前にお渡しした資料で最終的にはごみの収集は委託されます。何十年か後には多くの分野が委託になる。その時は2階部分も市民利用になっていくと思う。それまでエレベーター設置のスペースだけを想定して設計していれば良いと思っている。何故かと申しますと、現段階で設置しても経費節減から職員には使わせない。利用者はゼロに近いと考えている。また、設置されていけば適性管理が必要になる。必要になった時に設けたほうがベターとの考えがあるのでご理解願いたい。

座長：

もう一点ですが、1階が944平方メートル、2階が550平方メートル、ショップが約300平方メートルになる、事務所が100平方メートルですね。他の施設ではショップが400平方メートル位ですが、プラザの広さが400平方メートルは広いのかどうか、イメージがわからない。多目的学習室が200平方メートルあれば多摩市と同じくらいのもので出来る。環境情報やIT関係は75平方メートルから100平方メートルくらいですか。スタッフルームはどの位ですか？

事務局：

スタッフルームは50平方メートル位必要です。チャイルドスペース(キッズコーナー)は50平方メートル位ですか。

座長：

1階がプラザ機能、2階に事務所でお互いに関与しないこの案でいかがでしょうか。

委員：

いいと思います。〔全員〕

座長：

では、懇談会ではこの案でいきます。

事務局：

これを元に配置案がいくつか考えられますが、建物が出来上がってからの配置換えは建物の柱とか配線・配管の関係で出来なくなります。パーティション等で仕切った場合は可能です。

座長：

中の配置の最終案はいつ頃までに決めるのですか。1階・2階のこの話が急に出たものですから、最終案のスケジュールについてあらかじめ提示していただきたい。

事務局：

市民懇談会では言葉で表現していただければよいと考えている。それらを反映して技術的なことは設計コンサルタントがし、実施設計が出来れば皆さんに最終確認はしていただきたいと考えている。次回までに何案かが出て来ますので皆さんにご意見いただきたい。

委員：

駐輪場ですが、市民が使うのが20台ですが、少ないと思う。

委員：

花バスはこちらに来るのか？柳沢からのバスが廃止されて東伏見止まりになっている。直通がほしい。

座長：

次に中間報告の最終案の確認にいきたいと思います。事務局から説明をお願いします。

事務局：

(中間報告案について説明)

座長：

内容についていかがですか。言葉ですが1の(3)の「楽しみながら」を取ったらいかがですか。

委員：

確かに楽しみながらですが、答申となると外したほうが良い。

委員：

1の造語(「知る」「考える」「行動する」)の「知る」を「学ぶ」がよいかなと思う。(1)の「市民が参加・利用・集える」に「ためせる」があつたらどうか。そこで自分で試して家でまたやる、としたらどうか。

座長：

広い意味で「参加利用」の中に入ってしまう。

文言で言うと、たとえば2の(1)の2「サロンのアメニティ」を一言で言うと「アメニティ空間」ですね。「リラックス親近感のあるデザイン」は「親近感のあるデザイン」でいかがですか、4の「温かみのある木質建物」となっていますが、これは木造とすることですか。

事務局：

中を木造に、内装が木の感じとっている。

座長：

検討課題として私が新しく出した資料ですが、これをどう取り入れるか、ハード面についてはほぼ網羅されているので、ソフト面ですね。中間報告では触れないで実施計画レベルで具体的に考えて、最後に盛り込みたい。最終報告はそうしたいが如何でしょうか。

事務局：

それはどう活用するかということで、開設後のことで管理運営のことだと思う。

事務局：

建物のハード面でどういうものが必要かご意見をいただき基本設計に入ります。出来れば5月上旬に1回運営面でお話いただき、もう1回5月中に運営面でお話いただき最終提言にしていきたいと思います。それを受けて実施設計に入れるかなと考えている。実施設計の中でいくつかの案が出来た段階でお示ししていきたい。

事務局：

5月に2回ということは、実施設計に出す前にこれでよろしいかとする市民懇談会提言を基本設計にまとめ、その基本設計を議会に報告していきたい。今回の内容で数案を図画化させ連休明けにはお示ししたい。いつがよろしいですか。

委員：

金曜日がよい。

事務局：

5月7日はいかがですか。

座長：

では、5月7日とし、次を21日にします。

事務局にお聞きしたいのですが、中間報告には書かれて無いが、私がアイディアを出したものが最終報告案に事業例として記載されるのか。

事務局：

広い意味で環境学習を進めていく上で必要なものとして、環境学習基本方針をまとめる段階でも参考としたい。

ソフト面については、建物が出来てからの管理運営の中でどうやって活用していくかなとも思っている。4の六項目の中に付け加えても、と思ってる。

座長：

了解いたしました。

事務局：

考え方としては、7日に向けてこれからすぐ図化し、それを基本設計として決裁を取りたい。今後の計画としては議会に報告を考えている。実施設計を8月とすると7月に議会報告をしたいと考えている。6月は定例議会で無理であり、そのためには5月末には固めたい。

委員：

5月7日前に資料をいただけないか。図がその場で示されその場で決定しろということは無理。もっといい案があるかもしれない。

座長：

7日に出していただき、各委員さんが持ち帰って検討していただき、21日に最終決定とするのはいかがでしょうか。

委員：

座長案でよい。

事務局：

資料として、皆さんが使われる1階の案を先に送ります。

委員：

資料を送っていただくときに、多摩市と板橋区を除いた他の施設の運営について入れていただきたい。

事務局：

現在照会中ですので、2・3の施設について送れるよう努力します。

座長：

今後のスケジュールですが、実施設計の最終案が出来た後、実施設計の作成ですが、建物の間取りが決まった後はどうするのか。環境学習で学習室のたとえばスクリーンだとかプレスサーバーなどの予算はどうなのか。

事務局：

建物の中に組み込むか、後に備品として別に揃えるかというようなやり方がある。

委員：

どちらが良いのか。

事務局：

予算内で対応ができれば一体化のほうがよいと思うが、ものによっては製品がどんどん変わるのでどちらが良いかは言えない。

委員：

運営の財源等、どういう方を使うか分からないが、考えなければいけないのか。

事務局：

施設のあり方、やり方、他の施設には無いものを描くわけですからどのような備品を置くかとか、運営体制はとか、はこれからのことではないでしょうか。

委員：

その辺は逆に教えていただきたい。

建物についてですが、玄関のところにひさしがありますね、たとえばこれを布のようなもので自動的に出し入れが出来、ヨーロッパ的なもので晴れているときはそこで何か出来るようにと、面白みが半減する固定的な設備はどうなのかなと考えてしまう。

座長：

設備的な面で太陽光発電等は施設の一部予算的なこともあり、21日にある程度規模を決めなければならないのか。

事務局：

規模は別として予算は概略として取ってある。

座長：

モニタリングの観測設備は。

事務局：

当初の考え方には入っていない。どのようなものを。

座長：

気象観測に必要な観測機。

事務局：

観測がそこだけでよいのか、各学校の百葉箱等のデータをプラザでその所の温度等とかを集められるような仕組みはどうかなとも思っている。

座長：

新しい道路が出来るのでその前後の大気汚染などを測ってみたい、というのもある。

委員：

かなり経費がかかるのでは。

座長：

他になければ、本日はこれで終わりたいと思います。